

ZEPHYROS

ゼフュロス No.66

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

2016年2月20日発行

ISSN1342-8071



日伊国交樹立150周年記念

カラヴァッジョ展

企画展「日伊国交樹立150周年記念 カラヴァッジョ展」



《メドゥーサ》
1597-98年頃
油彩/カンヴァス 個人蔵



《バックス》
1597-98年頃
油彩/カンヴァス
フィレンツェ、ウフィツィ美術館
© Alinari, Licensed by AMF, Tokyo / DNPpart.com
Reproduced with the permission of Ministero per i Beni e le
Attività Culturali

ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ(1571-1610年)は、西洋美術史上最も偉大な芸術家のひとりであり、イタリアが誇る大画家です。理想化を拒む平明なリアリズムや、劇的な明暗法によって浮かび出る人物表現、素描を行わずカンヴァスに直接描く手法、そして観る者に直接訴えかけるヴィヴィッドな主題解釈といった点において、彼はルネサンス以降の様々な美術の規範を打ち破り、新時代の到来を告げました。それゆえ、彼の画法はイタリアのみならずヨーロッパ中からやってきた画家たちによって熱狂的に継承され、カラヴァジズムと呼ばれる一大芸術運動に発展しました。彼の影響はルーベンスやラ・トゥール、レンブラントなど、17世紀の数多の画家たちに及び、バロックという新時代の美術を開花させる原動力となったのです。

本展は、国内で開かれるカラヴァッジョ

に焦点を当てた展覧会としては2001年以来2度目の開催となり、イタリアの代表的な美術館等が所蔵するカラヴァッジョの名作10点と、同時代の画家たちの作品を合わせて約50点を展示します。カラヴァッジョによる現存する真筆作品は60点強と言われており、その中には移動不可能な祭壇画などが多数あることから、本展の出品数は日本で過去最多、世界でも有数の規模となります。

今回の展覧会は「風俗画」、「五感」、「静物」、「肖像」、「光」、「斬首」、「聖母子と聖人の新たな図像」という、テーマ別に設けた7つの章と、1つのミニ・セクション（「エッケ・ホモ」）で構成します。各章とも冒頭にカラヴァッジョの作品1点（もしくは2点）を置き、それを出発点として同様のテーマを扱った同時代の重要な作品群を併せて紹介します。そうすることで、カラヴァッジョの芸術の革新性やその影響力を明らかにす



《洗礼者聖ヨハネ》
1602年 油彩/カンヴァス
ローマ、コルシーニ宮国立古典美術館
per concessione del Ministero dei Beni e delle Attività
Culturali e del Turismo



《エマオの晩餐》
1606年
油彩/カンヴァス
ミラノ、ブレラ絵画館
Photo courtesy of Pinacoteca di Brera, Milan

ることは言うまでもなく、彼の友人やライヴァル、そして宿敵であった様々な画家たちがどのようにカラヴァッジョ芸術を咀嚼し、そこから新たな展開を生み出していったのか、実際に作品を見比べながら理解していただこうと考えています。

カラヴァジェスキと総称される、カラヴァッジョの継承者たちの中には、イタリア人のバルトロメオ・マンフレディ、オラツィオ(父)とアルテミジア(娘)・ジェンティレスキ、スペイン人のジュゼペ・デ・リベラ、オランダ人のヘリット・ファン・ホントホルストやヘンドリック・テル・ブリュッヘンらのように、カラヴァッジョの芸術を参照しながらそれを各々独自の芸術に昇華させた大画家たちが数多く含まれています。彼らの多くはカラヴァッジョを直接知ることなく、その作品の魅力に引き寄せられて画風を吸収しました。カラヴァッジョと彼らの作品を通じた対話を

追体験することも、展覧会の大きな見どころになるでしょう。

本展では同時に、裁判や暴力沙汰などカラヴァッジョの生涯をしばしば波立たせた出来事を記録した古文書も展示し、カラヴァッジョの人生と芸術両面におけるドラマをご紹介します。

(国立西洋美術館研究員 川瀬 佑介)

表紙
カラヴァッジョ
《女占い師》
1597年頃 油彩/カンヴァス
ローマ、カピトリウム絵画館
©Archivio Fotografico dei Musei Capitolini

日伊国交樹立150周年記念 カラヴァッジョ展

- 一般 1,600円 (1,400円)
- 大学生 1,200円 (1,000円)
- 高校生 800円 (600円)
- *中学生以下、心身に障害のある方および付添者1名は無料(入館の際に学生証・障害者手帳をご提示ください。)
- * ()内は20名以上の団体料金
- *本展の観覧券で3月1日(火)~3月18日(金)を除き、常設展も併せてご覧いただけます。

掲載作品はすべてカラヴァッジョ作

会期：2016年3月19日（土）～6月12日（日） 新館2階 版画素描展示室

小企画展「描かれた夢解釈 — 醒めて見るゆめ／眠って見るうつつ」



アルブレヒト・デューラー
《博士の夢》
1498年 エングレーヴィング
国立西洋美術館



マックス・クリンガー
《夢》『ある生涯』より
1884年
エッチング
国立西洋美術館

「目醒めているときには見られないような、偉大な理論と優品を、夢のなかでいかにしばしば見ることであろうか。だが、目醒めれば、その記憶は失われるのだ」(下村耕史訳) — ドイツ・ルネサンスを代表する画家、アルブレヒト・デューラーは、未完に終わった『絵画論』の草稿に、そう書き残しています。

「優れた画家の心は形象で充ちている」と記し、晩年には終末的な洪水の夢を見たことでも知られるデューラーは、人間の心内に蓄積された無数のイメージ記憶が、目醒めているときよりも眠っているときにこそ活発に動きだし、豊かな変容を遂げていくことを、20世紀におけるシュルレアリスムの台頭などより遙か以前、16世紀初頭の時点で、どうやら敏感に悟っていました。

こうしたデューラーの思考が物語るように、西欧の芸術家たちはルネサンス期以来、しばしば「夢」に対する関心を露わにしています。しかも、彼らはそれをただ言葉で論じるだけでなく、絵画や版画によって描きだしてもいま

した。それらは1900年にジークムント・フロイトが『夢解釈』を書くのに先立ってなされた、「描かれた夢解釈」とでも呼べる試みではなかったでしょうか。

当館の所蔵作品によって構成されるこの小企画展では、デューラーやジョルジョ・ギージ以降、フランシスコ・デ・ゴヤやマックス・クリンガー、フェリックス・ブラックモンやオディロン・ルドンといった近代画家たちまでの「夢」の表象を集め、さらには「メフィストフェレス」や「聖アントニウスの誘惑」といったテーマに光をあてることで、西欧における「眠り」や「夜」、無意識の「欲望」や「誘惑」のイメージに迫りたいと思います。

(国立西洋美術館研究員 新藤 淳)

常設展 (本展は常設展料金でご覧いただけます)

一般 430円 (220円)

大学生 130円 (70円)

*小・中学生・高校生および18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方および付添者1名は無料
(入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。)

* () 内は20名以上の団体料金

ファミリープログラム

家庭と美術館における学びの連携



「お母さんはどう思いましたか？」



「工夫したのはどこかな？」

皆さんの初めての美術館体験は、いつでしたか？誰と、どこの美術館に行き、何を見たか覚えているでしょうか？フランスの社会学者ピエール・ブルデュー(1930 - 2002) がフランスで行った調査によると、大人になって美術館を利用する人のなかには、子どもの頃に家族で美術館を訪れた経験のある人が多いことがわかりました。

家族という集団のなかで行われる教育は、人の生涯にわたって日常的に展開しています。それは、大人と子ども、あるいは子どもどうしの触れ合いや会話のなかで育まれます。どこの家庭にも、その家族のなかだけで通じる言葉や習慣があるように、家庭での学びは、学校という公的な教育機関と並行して、時にはより深く個人の感性、生き方、価値観や信条などに影響を及ぼすと言えるでしょう。

当館では、そうした家庭における学びの重要性を考慮して、家族で美術や美術館を楽しむプログラム「どうぶじゅつ」(詳細はチラシ、ホームページ参照)を行っています。

春(3~5月)と秋(9~11月)に行われるこのプログラムは、常設展示作品の鑑賞と創作をセットにした内容で、2時間という比較的短い時間で行われます。大人の参加者の中には、子どものみを対象としたプログラムだと勘違いされる方もいますが、そうではありません。美術をとおして豊かな想像力や情操を養うだけでなく、大人と子どもが相互に学び合うことも大切にしています。絵を見ながら自由に感想を話し合うことで、思いもかけない子どもの発想から大人が学ぶこともあれば、モノをつくり上げる共同作業を通して、子どもが年長者から自然に道具の使い方を学ぶこともあります。また、プログラムで制作した作品は、美術館と家族をつなぐ貴重なお土産となります。

本プログラムに参加することで、生涯にわたって美術に親しみ、美術館を楽しみと学びの場として利用するきっかけといただければ幸いです。

(国立西洋美術館主任研究員 寺島 洋子)

EVENT イベント

日伊国交樹立150周年記念 カラヴァッジョ展

展覧会に関連して次のプログラムを実施いたします。ぜひご参加ください。

● 関連講演会

日 時：**3月1日(火) 14:00~15:30**

ロッセッラ・ヴォドレ (美術史家・前ローマ国立美術館群特別監督局長)

「カラヴァッジョと彼の影響」

日 時：**3月12日(土) 14:00~15:30**

石鍋 真澄 (成城大学文芸学部教授)

「カラヴァッジョの真実 — カラヴァッジョはどんな男だったのか」

日 時：**5月14日(土) 14:00~15:30**

川瀬 佑介 (国立西洋美術館研究員)

「ローマとナポリにおけるカラヴァッジョの継承者たち」

会 場：国立西洋美術館講堂 (地下2階)

定 員：各回先着 140名 (聴講無料。ただし、聴講券と本展の観覧券が必要です。)

参加方法：当日 12:00 より、館内インフォメーションにて、本展の観覧券をお持ちの方お一人につき一枚聴講券を配付します。会場へは開演の 30 分前からご入場いただけます (自由席)。

● 特別講演会

日 時：**4月2日(土) 13:30~15:15**

川瀬 佑介 (国立西洋美術館研究員)

宮下 規久朗 (神戸大学大学院人文学研究科教授)

「カラヴァッジョ展紹介」

「特別講演 カラヴァッジョ芸術の革新性」

会 場：イタリア文化会館 (東京都千代田区九段南 2-1-30)

参加方法：無料。ただしカラヴァッジョ展の観覧券または半券の持参が必要です (会場でも観覧券を販売いたします)。また、事前に往復はがきでのお申込が必要です。詳細はカラヴァッジョ展公式ホームページ (<http://caravaggio.jp>) をご確認ください。

主 催：イタリア文化会館、国立西洋美術館、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社

● スライド・トーク

展覧会のみどころや主な作品について、スライドを使って説明します。

日 時：**3月18日(金)、4月8日(金)、4月22日(金)、5月13日(金)、5月27日(金)**
各回 18:00 ~ (約 30 分)

会 場：国立西洋美術館講堂 (地下2階)

解 説 者：中江 花菜 (東京藝術大学大学院)

定 員：各回先着 140名 (聴講無料。ただし、本展の観覧券が必要です。)

※直接講堂にお越しください (開場時間は各日とも開演の 30 分前)。

※講演会、スライド・トークのタイトル・内容等は変更となる場合があります。

最新の情報は国立西洋美術館ホームページまたはハローダイヤル (03-5777-8600) でご確認ください。

Museum shop

ミュージアム
ショップ

おすすめ本

「カラヴァッジョ展」を
さらに楽しむために

●『カラヴァッジョへの旅 天才画家の光と闇』

宮下 規久朗著 角川書店 2007年 1,836円(税込み)

名声と暴力沙汰、逃亡中、各地を転々としながらの制作、手を差しのべ続けたパトロンや友人など画家の生涯を追いつつ、カラヴァッジョ作品の革新性と変化が丁寧に読み解かれています。作品が置かれている現場に旅することで初めて見えてくる画家の創意についての説明は、展覧会場でも私たちの想像力をかき立ててくれるはず。



Café カフェすいれん



「日伊国交樹立 150 周年記念
カラヴァッジョ展」特別メニュー

期間 3月1日(火)～6月12日(日)

●パルマ産生ハム グリーンサラダ添え
972円

イタリア出身のカラヴァッジョにちなみ、期間限定でパルマ産生ハムをご提供します。フレッシュで果実味あふれるバランスのとれた味わいのピエモンテ産ワインと合わせてご賞味ください。

赤ワイン：ジャコンディ・ロツソ グラス 540円 ボトル 2,376円
白ワイン：ジャコンディ・ピアンコ グラス 540円 ボトル 2,376円

価格はすべて税込み

チケット売場、館内施設(常設ミュージアムショップ、カフェすいれん)で Suica、各種クレジットカードがご利用いただけます。(ただし、一部除外品がございます。) 詳細については、当館ホームページをご覧ください。

展示カレンダー [企画展示/常設展示]

2016年2月～7月

休館日 土・祝日

FEB 2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
全館休館1月12日(火)～2月29日(月)																															
MAR 3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
日伊国交樹立150周年記念 カラヴァッジョ展 3月1日(火)～6月12日(日) (企画展示室)																															
常設展示室閉室 3月1日(火)～3月18日(金)																															
描かれた夢解釈—醒めて見るゆめ/眠って見るうつつ 3月19日(土)～6月12日(日) (新館2階 版画素描展示室)																															
APR 4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
日伊国交樹立150周年記念 カラヴァッジョ展 3月1日(火)～6月12日(日) (企画展示室)																															
描かれた夢解釈—醒めて見るゆめ/眠って見るうつつ 3月19日(土)～6月12日(日) (新館2階 版画素描展示室)																															
MAY 5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
日伊国交樹立150周年記念 カラヴァッジョ展 3月1日(火)～6月12日(日) (企画展示室)																															
描かれた夢解釈—醒めて見るゆめ/眠って見るうつつ 3月19日(土)～6月12日(日) (新館2階 版画素描展示室)																															
JUN 6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
日伊国交樹立150周年記念 カラヴァッジョ展 3月1日(火)～6月12日(日) (企画展示室)																															
描かれた夢解釈—醒めて見るゆめ/眠って見るうつつ 3月19日(土)～6月12日(日) (新館2階 版画素描展示室)																															
JUL 7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
聖なるもの、俗なるもの メッケネムと初期銅版画 7月9日(土)～9月19日(月・祝) (企画展示室)																															

●全館休館・一部閉室・臨時開館のお知らせ

- * 1月12日(火)～2月29日(月)は館内整備のため全館休館します。
- * 3月1日(火)～3月18日(金)は常設展示室を閉室します。
- * 3月21日(月)、3月28日(月)、5月2日(月)、7月18日(月)は開館します。

●常設展示

ロダンやプールの彫刻と中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。
(展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

※展覧会名、会期、展示内容等は変更されることがあります。

※作品の保存・貸し出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時
*入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)
*その他、臨時に休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600
<http://www.nmwa.go.jp/>

※誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまざまの花々を運び春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第66号

編集・発行 国立西洋美術館/2016年2月20日(年4回発行)
協力 公益財団法人 西洋美術振興財団
印刷 (株)アイネット